

Windows10古いDynabookをSSDに交換してクリーンインストール

2011年製の東芝ノートパソコンDynabook(T451/46D)を、ハードディスクをSSDに交換してWindows10をクリーンインストールしたので備忘録を残す。

Core-i5でメモリ8Gbyteなので基本仕様は悪くはないのだが、メチャクチャ遅かったSSDに交換する事で劇的に早くなり快適になった。

Windows10インストール用のDVD作成

下記URLからWindows10インストール用のIOSファイル入手しDVD-ROMに書き込み、インストール起動DVDディスクを作成しておく。

<<https://www.microsoft.com/ja-jp/software-download/windows10ISO>>

ハードディスクの交換

SDDは「Crucal MX300 2.5-inchi 275GB」を入手。参考のリンクの手順を参照し、下写真のようピッタリ収まり交換できたSSD本体の厚さがHDDより多少薄いのでSSDに付属していたプラスチックのスペーサは貼り付けた



Windows10のクリーンインストール

上記で作成しておいた、起動DVD-ROMをセットしてリセット起動。画面指示に従いWindows10をクリーンインストール。

- 外付けのUSB機器などはできるだけ外しておく。特にUSB-HDDがあると起動ディスクの認識に失

敗したりする。

- プロダクトキーは「なし」で進める。いままで、同パソコンで以前のWindowsが動いていたので、ネットワークに接続されると自動的にライセンス認証されるHDDを交換したくらいでは大丈夫のよう)

LogicoolのSetpointが動作しない?

Logicoolのマウスを使っており「[ロジクール Setpoint 6.67](#)」を入手してインストールしたが、起動してもSetpointの画面が出ない事象が発生した。ググって見たらクリーンインストールした時には「Microsoft Visual C++ 2008 SP1再頒布可能パッケージ」が必要なようで、下記URLから入手してインストールしたらOKとなった。

- Microsoft Visual C++ 2008 SP1再頒布可能パッケージ(64bit用のx64版)
<<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=2092>>
- Microsoft Visual C++ 2008 SP1再頒布可能パッケージ(32bit用のx86版)
<<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=5582>>

所感

Windows10のインストールも1時間程度で終わり、案外素直にインストール完了した。
Windows10の起動時間も10秒程度で起動する。これまでWindowsの起動時間は遅いというイメージがあったがWindows10では工夫もされているのだろうけどSSDの効果だろう。とても速くなって快適で見直した!! 終了時間は多少遅くなっても起動時間が早いのは嬉しい。
速いと思ってたMacパソコンが遅く感じるようになってきた(^^;)。

参考

1. [ノートパソコンのHDD\(ハードディスク\)をSSDに交換しました!そしたら激速に!!](#)
2. [東芝 dynabook T451 HDD交換](#)
3. [Windows10でSetpointが動かない時の解決法\(Microsoft Visual C++ 2008 SP1再頒布可能パッケージが必要\)](#)
4. [Windowsがインストールできない場合の対処方法1\(2017年版:ちょっと初心者向け\)](#)
5. [dynabook T451/**E\(dynabook EX/47E/T351/**Eシリーズ用 Windows 8 アップグレードモジュール](#)
6. [ハードウェア構成の変更後に Windows 10 のライセンス認証をもう一度行う](#)

From:
<https://www.yokoweb.net/dokuwiki/> - 新石器Wiki

Permanent link:
<https://www.yokoweb.net/dokuwiki/software/windows/windows10/windows10-clean-install>

Last update: 2026/07/28 13:16

